



岡野クリニック にゅーす

医療法人社団 貴昌会

岡野クリニック

〒343-0808

越谷市赤山本町7-2

☎048-969-0223 FAX048-969-0224

特集コーナー

「老いを受け入れる・前編」

高齢者になっても、老いを受け入れたくないという方は少なくありません。加齢によってできないことが増えると、「自分には価値がない」と感じてしまい、「老いを受け入れる」とは「人生の終わりを意識する」と考えてしまう方も多いようです。老いを受け入れられない人にお勧めの習慣です。適度な運動やバランスの取れた食事を心がけることで、加齢による衰えを緩やかにすることが出来ます。運動は体力を維持するだけでなく、心の安定にもつながります。また、新しい趣味を始めたが、資格取得の勉強をしてみたいか、でも、知的好奇心を満たし、自信を高める事が出来ます。また、人とのつながりを大切にする習慣も重要です。ボランティア活動や地域のサークルに参加することもお勧めです。

訪問看護日誌

92歳のTさんには脳梗塞の既往歴があります。脳梗塞の兆候をいち早く察したのは、遠方に住む娘さんでした。お父さんとの電話の会話が聞き取りづらく、呂律が回っていない様子に異変を感じたそうです。すぐにクリニックにメールでお知らせくださり、直ちに受診に向えるようにタクシーを手配するなど、手早く適切な対応をなさいま



ひげドクこうむ

まだまだ厳しい暑さが続いているとは言え、暦の上では秋、夏から秋への季節の変わり目である9月は、残暑と共に夏の疲れを癒やして次の季節へ橋渡しする時期でもあります。残暑の体調管理のキーワードは「冷しすぎない」「無理しすぎない」「お風呂に浸かって身体を温める」です。クーラーで冷えた身体を温める習慣を少しずつ増やしていきましょう。



リハビリケア岡野です

リハビリケア岡野の利用者さんの年齢層は60〜90代と幅広く、当然ですが、おひとりおひとりのお身体の状態は違っており、高齢でも十分に体力を維持されている方もいらっしゃる。特に季節の変わり目や寒暖差の大きい時期は心身共に不調を訴える方も



すたっふ便

多く、スタッフはその日の体調を伺った上で、柔軟にプログラムを変更するようにしています。あまり体調が優れない状態で来所された利用者さんの中には、「休もうかと思っていたけど来て良かった。いつも通りの運動はできなかったけど、スタッフさんや他のお仲間とお話するだけでも元気になれる」「家でじっとしているより、ここに来て、皆さんとお喋りして身体を動かした方がお腹もすいてご飯が美味しく頂ける。良いことばかりだよ」とお話ししてくださる方もおられます。リハビリケア岡野の空間が、良い気分転換の場所になったようです。今後も皆さんの「心の居場所」でありたいと思っています。



九月の予定ー文月

休診日 四日・七日・十四日・十五日
二十一日・二十三日・二十八日
※四日(木)は臨時休診です。



医療事務スタッフを募集しています。
お問い合わせください。